

企画セッション

◆産学官金連携によるオープンイノベーションへの取り組みについて◆

【概要】

- 東京工業大学と横浜銀行は、地域経済の持続的な成長・活性化に貢献するため、地域の課題解決に向けた包括連携協定を締結し、本年4月からは横浜銀行の行員を外向派遣し、共同研究員として東京工業大学が保有する知的財産と横浜銀行の取引先とのマッチングを進めている。その具体的な活動や施策、そこで明らかになった産学官金連携に関する課題などについて発表する。
- 横浜銀行シンクタンク部門である浜銀総合研究所、中小企業支援団体である川崎市産業振興財団、独立行政法人中小企業基盤整備機構よりそれぞれの立場からこれまで取り組んできた産学官金連携について発表する。
- オープンイノベーションの体系的な話だけではなく、実際に登壇者が日々の実務を通じて産学官金連携に関する課題、今後更なる活性化を図るためには何が必要かなどより具体的かつリアルな事象について発表する。
また、これまでの産学連携に関しては大企業との連携をイメージしてきたが、国内企業の大多数を占める中小企業との産学官金連携をいかに進めていくかについても発表する。
- 具体的事例についても大学の知的財産を活用することで企業価値を高めることが出来た好事例等を中心に発表。また、現状の産学官金連携に関する課題、今後の活性化を図るうえで何が必要かをアナウンスする。

○モデレーター兼発表者

① 株式会社横浜銀行

○登壇予定

① 株式会社横浜銀行

② 浜銀総合研究所（横浜銀行グループ会社シンクタンク部門）

③ 公益財団法人川崎市産業振興財団

④ 独立行政法人中小企業基盤整備機構

企画セッション

◆ 産学官金連携によるオープンイノベーションへの取り組みについて ◆

【講演者略歴】

○人見 崇之 株式会社横浜銀行 ソリューション営業部

ビジネスコンサルティンググループ副グループ長

国立大学法人東京工業大学 研究・産学連携本部

ベンチャー育成・地域連携部門 民間等共同研究員

2006年横浜銀行入行。営業店勤務を経て2015年より本部企画推進部門に着任。2017年より大学法人との連携部門に従事。2019年4月より東京工業大学へ民間等共同研究員として派遣、現在に至る。

○中村 貴彦 株式会社浜銀総合研究所 経営コンサルティング部

主任コンサルタント

電気メーカーの経営企画、生産管理部門を経て2003年浜銀総合研究所に入社。2010-2012年横浜市のものづくりコーディネータ事業の立上げに参画。産学官金連携を含む知財活用ビジネスの支援、IPランドスケープ等のコンサルに従事、現在に至る。

○島村 太郎 公益財団法人川崎市産業振興財団 産学連携コーディネータ

博士(工学)

大手電機メーカーの開発設計部門、大学産学連携部門等を経て2013年より現職。主に市内中小企業と大学、大手企業等とのマッチング活動に従事。

○穉本 仁 独立行政法人中小企業基盤整備機構

関東本部 東工大横浜ベンチャープラザ

チーフインキュベーションマネージャー

オートバイを中心に輸出入を行う中小企業で勤務する傍ら、事業の多角化で畑違いのレストランの運営に従事。そこで多種多様な課題に直面し、多忙な中小企業の経営者に対するサポートの重要性を認識する。2006年中小企業診断士を取得。2006年の東工大横浜ベンチャープラザ開設時よりインキュベーションマネージャーとして大学が有するシーズ・知見を活用した大学発ベンチャーの事業化および中小企業の新事業展開支援に従事、現在に至る。